

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
Engage Rotary Change Lives



個々の価値観を尊重し
自らロータリーを楽しもう

国際ロータリー会長 ロンD. バートン

2013~2014

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2324 第23回例会 2013. 12. 12 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：大網庄一郎 SAA

ソング：君が代、我等の生業

お客様：鈴木 裕士 様

会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。

先週は社会奉仕プログラムとして老人保健施設さきくさの訪問に14名の会員と女子会7名、併せて21名の方々に参加していただきました。合唱、演奏、フラダンスと素晴らしい内容で、施設の皆さんも大変喜んでおりました。日々懸命に練習を積まれた皆さんにはあらためて敬意を表したいと思います。大変お疲れさまでした。

また、10日には指名委員会が開催され、次々年度の会長・幹事候補、並びに次年度の理事候補が選出されました。本日の年次総会で正式に決定されることとなります。

さて、今月はロータリーの家族月間でもあります。ロータリーの家族は会員の家族、インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生、奨学生等ロータリーに関係するすべての人を指しております。

最近ロータリーの家族の参加、協力が少なくなってきたと関口ガバナーがガバナー月信で述べております。会員がロータリー活動をしていくには家族の理解と協力は欠かせないものと思います。私たちクラブには夫人の集いである女子会が昨年結成され、私たち親睦活動のバックアップに協力を頂いております。当クラブにとっては大変有難いことと思っています。

来週は家族夜間例会です。できるだけ多くのご家族の参加をお待ちしたいと思います。なお、ガバナー補佐の堀内様にご婦人同伴で家族例会にご参加いただけるとの連絡がありました。楽しい家族例会にしたいと思います。

会長報告

1. 第4分区会長幹事会の報告
詳しくは幹事より報告があります。
2. 富津チャリティ映画上映実行委員会からの協賛要請について

東日本大震災のドキュメンタリー映画「ガレキとラジオ」を富津上映実行委員会主催で上映するに当たり当クラブに協賛の依頼があり、理事会にて対応を検討します。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



幹事報告

山田 昌雄 幹事



1. 第4分区 会長・幹事会議 2013. 12. 6
 - (1) 次年度ガバナー補佐について
野村 進一氏 上総ロータリークラブ
 - (2) 第4分区インターシティミーティング (IM) 開催について
日時 2014. 2. 14 (金) 13:00～16:50
場所 東京ベイプラザホテル
テーマ「例会に出席して何を学ぶの？」
リーダー「土屋 亮平(松戸 RC) 事務局の出席要請有り
 - (3) 地区RLI(ロータリー・リーダーシップ) 研修会について
会員の参加をお願いしたい。
できれば会長エレクトをお願いしたい。
 - (4) 分区親睦ゴルフ大会について
4月11日(金)を予定しているが、詳細は次回会長・幹事会にて
 - (5) 次回会長・幹事会について
1月17日(金) 13:30～ 東京ベイプラザホテル
2. 12月19日(木) 忘年家族例会への特別展
について
高島治雄、山田昌雄 陶芸二人展
場所例会場



ポピー

お礼の言葉

金谷美術館 理事長 鈴木 裕士 様



「バリ&金谷インターナショナルアートウィーク」への富津中央RCからの支援について、鈴木様よりお礼の言葉をいただきました。

誕生祝



榎本守男 昭和25年12月3日

誕生祝の一言

榎本 守男 会員



私は昭和25年12月3日生まれです。63歳になりました。今年はアピールしなかったのが家族から完全に忘れられました。しかし誕生プレゼントは2つ頂戴しました。1つはクラブからです。ホタテ入りキムチが誕生日当日宅配されました。もう1つは保険の外交員さんからです。バラの花束でした。

誕生祝のメッセージは、フェイスブックで承認し

ている友達から「いいね」を受信しました。

皆さん「有難うございました。」

卓話

イノシシの逆襲

石渡 鋼 会員



我富津市の広報紙が毎月初めに配布されていますが、必ず目を通す欄、それは人口動向のそれです。気にして見るようになって以来増になった記憶はありません。あの有名な夕張市の15万人台からいま1万人台ほどの激減ではないにしろ、じわじわと5万半ばから4万半ばへと減少の一途を辿っています。

理由はそれぞれの事情が有るわけで一概には言えませんが、考えるに先ず生活の基盤である仕事、働く場が無くなり、職が多く便利な都会地に出て行くのは当たり前なのでしょう。

また、土地密着型の農林漁業商工業に於いても米価の低迷、木材薪炭の不需要、魚貝類の枯渇、流通変革による販売不振、等による転廃業、そして後継者難となれば市内あちらこちらに無人の家、シャッターあるいは歯が抜けた様な屋並みが多くみうけられます。特に山間部の集落では高齢化とも相まって、草刈等の共同作業、祭礼、その他の文化行事、そして何よりもコミュニティの維持が困難になり、まさに限界集落化しつつあるのが現状と思われれます。

そこへ人口減少の負の連鎖に更に追い打ちを懸けてきたのが猪・ハクビシン・猿・鹿等の害獣、中でも猪は農産物の被害は元より、人、車への危害が多発しております。

さらにもっと深刻な問題として、「猪と暮らすこんな村、おらいやだ」と若者達が考え始めてきたようだということです。

市役所も猟友会との連携で、駆除に当たっていますが、狩猟者の高齢化、減少やらで効果は今一つ、電柵、網張などはお互いに追い払いっこするだけで、弱者にしわ寄せが行かないかと心配になります。関係機関には事の深刻さを踏まえた抜本的な対策を望むところでありますが、あの大都会東京府でさえイノシシ問題でもめている訳で、やっぱり自衛するか、脱出するかしかないのでしょうか。



猪被害写真 提供 石渡 鋼 会員

年次総会

小野 恒靖 指名委員会 委員長



小野委員長が、12月10日に開催された指名委員会において決定された、次々年度会長、幹事他役員、理事候補者の名前を読み上げ、須藤会長が承認の可否を問うたところ、全員賛成で原案通り承認された。

又、新理事会において次年度SAAが選出された。

新役職者は次の通り。

次々年度会長:千葉一利

次々年度幹事:高橋裕之

次年度会計:平野安照

次年度SAA:渡辺務

上記以外の次年度理事:石渡鋼、大網庄一郎、原田雅式、(須藤隆、若鍋武良)

ニコニコBOX

平川恵敏 親睦担当委員

須藤 隆 次々年度会長・幹事の選出を祝して

小野 恒靖 指名委員会無事終了致しました。
ご協力ありがとうございました。
さきくさの演奏会のブルーレイディスクを志波さんに頂きました。

*榎本 守男 誕生祝をいただいて

*三枝 一雄 12月5日のさきくさ訪問のお礼

* >1,000円 合計 15,000円

出席報告

白石幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/20	17	3	0	85.0%
前回	21/21	21	0	0	100%

理事会報告

1. チャリティ映画協賛の件

会員人数相当分のチャリティ参加費2万円を協賛金として供出することとした。

2. 夜間家族例会におけるプログラム内容の確認

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会は夜間)
火	富津(特別 18:30 10~3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シィ(特 19:00)
木	上総、木更津

役員に推されて

千葉 一利会員

年次総会で私は、次々年度の会長に決まりました。病気がちで高齢の身ですが、皆さんの協力を得、なんとかその任を果たしたいと思っています。

私が次々年度の会長を引き受けた訳は、いくつかあります。先ずその1つは、O会員が病気がちの私に対して、何か役職を与えれば、生きる意欲がさらに高まるだろうと、私の反対を押し切り、強引に次々年度の会長に推薦したという事です。

また、昨年のお事です、私の夜の行動を良く知っ

ているI会員が、私の事を「不良老人」と命名した時、体の調子も良くなってきた関係もあって「積極的前向き発言」をしてしまい、その手前受けざるを得なかったということ。さらに過日、大腸の検査をした時、医師より「3年ごとに検査した方が良い」と言われ、私は「高齢者で平均寿命は過ぎており、あと何年生きるか分からない」と言ったら「男の平均寿命は約79歳、これは0歳児の事で、81歳の平均寿命は多分86~7歳くらい、後2回検査が受けられますよ」と笑いながら話された。87歳を平均寿命とすれば、まだ生きられロータリー活動も出来るだろうと思ったからです。

後は全会員の承認の大きな拍手があったからで、以上が次々年度の会長を引き受けた主な理由です。

最後になりましたが私にとって最大の幸運は、とても力強い助っ人高橋会員が幹事になってくれたという事です。この年寄が会長をやろうとしているのに、1人も幹事として会長を助けてやろうとする者が居ない、なんとつれない人情味の薄い我がクラブだろうかと一瞬思いました。でも待てよ、この雰囲気は日本に良くある「謙譲の美德」で即ちいつも控えめであるべく出しゃばらない、この態度かと前向きに考えようとしていた矢先、高橋会員が「私がやります」とはっきり宣言、一斉に拍手、私にとってあの時の感動は一生忘れません。

「人の事を思い、人のために行動する」これこそロータリー活動の原点であると思います。高橋会員に対して心より謝意を表す次第です。

生きる希望と活力を与えてくれたO会員をはじめ、会員の皆さんに心からお礼を申し上げ、次々年度の幹事高橋会員共々よろしくご指導ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



水仙

ロータリーを楽しむ

平成25年11月27日木更津東RCでの卓話

榎本 守男会員

皆さん、こんにちわ。只今は身に余るご紹介を頂き、又皆様方には温かく迎えていただき有り難うございます。木更津東RCの例会には初めての出席になります。

本日は私の介添役として富津中央RCより須藤会長、志波会員、高橋会員、渡辺会員の4名が出席させていただきました。このような機会を通じてクラブ間での交流がさらに深まればと思っています。

東クラブの大先輩の前でロータリーについての卓話、おこがましいと思いつつ話させていただきます。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。私は1950年生まれで63歳です。広島県の山間部の上下町の出身です。人口4千人くらいの中国山地の中に位置する分水嶺の町です。町を流れる小さな川の一つは瀬戸内海に、もう一つは日本海に注ぎます。田山花袋の布団のヒロイン岡田美知代が暮らしていた白壁の町であり、「古き良き時代の日本がある」そんな町です。

東京には子供のころから強い憧れを持っていたので上京、その後学生時代に同じサークルに在籍した妻の故郷富津に来ました。31歳の時富津中央ロータリークラブに入会しましたのでロータリー歴はもう32年になります。

木更津東クラブとの接点は2011-12年度、コホスト地区幹事として協力させていただいたことです。大会が近付くにつれて東クラブの団結力が増すのを目の当たりにしました。何事も最初からまとまっていることはあり得ません。緊張感によって責任感が生じ、結果として素晴らしい地区大会をやり遂げられた皆さんのパワーに感動しました。富津中央クラブも地区大会の最後に企画されていた分区の慰労会まで全会員が参加していました。これは私共クラブにおいても初めての事でした。皆さんの熱い思いが伝播したからだと思います。貴重な体験をさせていただき、遅ればせながらお礼を申し上げます。有難うございました。

さて本日のテーマ「ロータリーを楽しむ」ですが、ロータリーを楽しむ事は人生を楽しむ事に通じるのではないのでしょうか。どんな事でも何もしないで自然

と楽しくなる事はありません。一人一人が意識的にみんなで楽しむという積極的姿勢を持ってこそ、初めて成立すると思います。そこで今回の卓話の準備として、富津中央クラブの新会員にロータリーに入会しての感想を書いてもらいましたので紹介します。

ロータリーを楽しむために A会員

「私はRCに加入して5カ月が経ちましたが、RCでの活動は、新鮮な感動に満ち溢れています。

例えば、無趣味だった私が、ドラム演奏という素晴らしい趣味に出会えたのも、RCの先輩からお誘いを受けたからでした。これまでの中で、RCのイメージは、厳粛な重いイメージを持っておりましたが、諸先輩方は気さくに話しかけてくださいます。

様々な経験を積んできた方々からの、多彩なアドバイスは私のこれからの人生を、豊かにしてくれる貴重な話ばかりです。社会奉仕を念頭に、自分が一個人として成熟していくためにも、RCでの様々な交流を楽しんでいます。」

このように堅苦しい会だと思いつつ入会したロータリークラブ、実はそうではなく楽しみつつ自分を成熟させてくれる会であった。この素晴らしいコメントに私自身も再認識をさせられました。

もう一人チャーターメンバーのB会員にも、ロータリーに入って良かった事を箇条書きでお願いしました。続いて紹介します。

ロータリーに入って良かった事

1. 良い友人、知人が増える。特に異世代、異業種に友人、知人が増えるのは有難い。
2. 優れた人々の身近にいと、自然と自分自身が磨かれる。
3. 人前で話す機会を多く与えられるので、それなりに話し上手になる。特に会長経験は話す能力を向上させる。
4. 経験、環境の異なる人々との共同作業が円滑に出来るようになる。
5. 奉仕の大切さ、実践方法がわかり、気軽に奉仕活動が出来るようになる。
6. 責任を持った仕事の割り当てにより、それぞれのスキルが上達する。例えば会報作成。
7. 気軽に付き合える趣味仲間が出来る。
8. 高年齢になり、仕事や交際範囲が少なくなる

と、ロータリーへの参加は心身活性化の貴重な機会。

9. 卓話を割り当てられる事により、読書や社会活動に力を注ぐようになる。

新入会員とチャーターメンバーの二人の考えで全体を平均化する事は出来ませんがクラブに対する考え方、楽しみ方、活動の方向性等に大きな差異はないと思います。楽しいクラブ運営の参考になればと紹介しました。

富津中央RCの特徴は、会員が各委員会の計画に協力的であり、纏まりがあり、楽しみつつ活動をしているクラブといえます。社会奉仕活動の充実のために昨年度よりバンドを結成しました。アルトサックス、ベースギター、エレキギター、ドラム、ピアノ、ハーモニカ、パーカッション、ボーカル等未経験者ばかりなので上達すべく各自練習に励んでいます。

12月5日は富津市内の施設での慰問を予定しています。プログラムは会員の「歓喜の歌」合唱、バンドのラテンメドレー、婦人の会のフラダンス、そして歌謡曲です。もう少し上達すれば訪問要請に応じますので声をかけてください。

なにぶん会員数が21名と少ない為、パワー不足は否めません。今年度は増強の成果を上げ木更津東RCのようにパワフルなクラブとして効果的な活動に取り組めればと願っています。

このように私たちクラブは楽しみながら活動していますが、「ロータリーを楽しむ」ということを三つに分類してみました。

現在(今を楽しむ)

毎例会が楽しい。会員卓話の充実は、卓話者の工夫と聴く側の姿勢にあります。話す側は聴く人の分かりやすい言葉ではっきりと話す。聴く側は、機敏に反応し最後に褒める。これにより、会員の意外な一面を発見し、理解を深め、話が弾むようになる。各自が蘊蓄話でもすれば更に楽しくなります。意外性の面白さです。

今日は富津中央のバックナンバーの会報を一部持ってきましたので後で是非読んでください。No. 2235号志波会員の卓話「宇宙雑談」です。

例会の60分の充実をみんなで工夫するところから始めたらどうでしょうか。

過去(振り返ることの楽しさ)

会報の充実。会報作成目標は例会を正確に記録し、読みやすく、美しく、上品な紙面を作成することです。私たちクラブでは、さらにウェブ会報として現在八年分を掲載していますが、会長写真付きで年度別に整理してあり、各号簡単に閲覧できます。

卓話や発表等は個人別に索引が設けてあるので検索が容易です。会報作成体制においては会報を編集できる会員は7名います。更に印刷できる会員が3名おり、継続性の問題はクリアできています。そして作成要領について写真修正要領を含めたマニュアルを作り適時研修をしています。

例会の記録は自分史の記録でもあります。振り返ることにより思い出の整理を楽しんでいただきたいと思います。ウェブ会報の会報綴年度選択、会報索引、個別会員索引及び個人別卓話発表タイトルをコピーしました。配布するのでご覧ください。

未来(友達が広がるのが楽しい)

これからどんな友達が出来てでしょう。皆さんが所属している他の団体で新たな友人は出来るでしょうか。ロータリークラブでは、老若男女、ベテラン、新人、役員すべてが友人です。常識を備えた若い友人を迎えるために自分を磨き、どんなことにも興味を持つことが肝心ではないでしょうか。友達を増やすことは人生の充実につながります。

以上のような勝手な分析をしてみました。今後の課題としては退会者が出来ないようにクラブ環境の整備に取り組む必要があると思います。決して退会者に非があるわけではありません。原因を把握し素早い対応をしていくことが増強への近道だと思います。更にもう一つ加えれば思考の改善が必要です。ロータリーにNOはない！という言葉がありますが、私はNOと言えるクラブでありたいと思っています。理由は皆さんの胸中で推測がつく筈です。

お知らせ

2790地区のホームページに富津中央ロータリークラブのさきくさ訪問が掲載されています。地区内クラブ活動状況のページです。是非ご覧下さい。